

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和5年 12月15日(金) Vol.32

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

あなたらしく・わたしらしく

13日(水)、「全校道徳」として、女優・タレントの西原さつきさんを講師にお招きし、「自分らしく生きていくこと」というテーマで、講演会を実施しました。西原さんは、男子として生まれ、中学生の頃にトランスジェンダーであると自覚し、ホルモン投与などを経て、女優としてメディアに出演すると同時に、映画の脚本監修など制作側にも立ち、様々な分野で活躍されています。



【開会の言葉が述べられ、いよいよ講演会が始まります。座っているのが西原さん。実はとても緊張していたそうです】



【「自分らしさってなんだと思う？」との問いかけに、生徒は自由に、周りの人同様に話し合い始めました】



【指名されたのは偶然にも卓球部員。西原さんも元卓球部だったとか。ラケットは、シェイクのツブダカだそうですよ！】



【恋愛の話、家族や友人の話など、当事者ならではの経験談が次々に披露され、みな真剣な眼差しで聞き入っています】



【質問タイムでは、次々に手が挙がり、脚本家業のこと、女性と男性のものの見方の違いなど、いい質問がたくさん出ました】



【生徒会本部役員がテキパキと運営をしていた姿に、西原さんは感心していました。お礼の言葉を伝えて、講演会は終了です】



【西日の差す廊下で写真を撮っていたら、下校する3年生たちがどんどん集まって、いつの間にか、プチ記念撮影になりました】

西原さんは、LGBTQ+の概要、自分の生い立ち、ホルモン投与、家族や周囲の人との関わり、恋愛の話など、実にいろいろなことを話してくださいました。

女性として働き、活躍の場を広げていることや、周囲の人と分かり合えたことなどの話題からは、前向きで明るく、希望を感じました。一方で、ほんとうの自分と向き合う戸惑いや、分かり合えない難しさなど、悩ましく深刻な話題もありました。

男性から女性になるということは、心身ともに相当なエネルギーが必要だったことなのでしょう。それでも、自分がやりたいことを見失わず、夢をつかみ、実現させてきた西原さん。その生き方から、数々の困難を乗り越えてきた、心の強さ・たくましさを感じました。

「様々な経験の中で、自分の弱点も個性として認められるようになった」とも話していました。人と違うこと、人と比べて劣っていると思うことなどは、誰もが抱える悩みです。しかし、自分と全く同じ人間は、誰一人としていません。互いの違いや、得意・不得意を、「個性」として認め合い、助け合うことができるようになれば、より多くの方が、自分らしく生きられる世の中になるのではないのでしょうか。

LGBTQ+の人や、ハンディキャップをもった人に対して…というだけでなく、自分の学級・学年にも目を向けて、互いの違いを尊重できる集団を、まずは、しっかりとつくっていきたいですね。

運営、進行を頑張った生徒会本部の皆さん、会場設営をした1年生と、片付けをした3年生の皆さん、そして、学習資料を作成してくれた学習図書委員会の皆さん。ありがとうございました。

今、学べることは

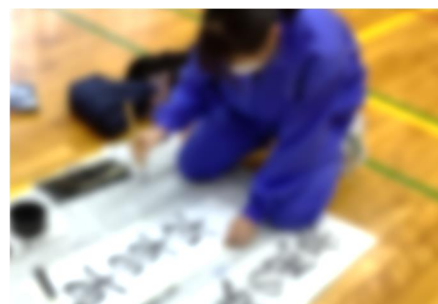
11日(月)、12日(火)の両日、学年ごとに書き初め練習会が行われ、〇〇先生から、ご指導をいただきました。体育館にずらりと並んで、全員が筆をとる様子は、なかなか壮観でした。



【「早く書かなくてよい」とのご指導がありました。一画ずつ、ゆっくりと】



【先生に朱墨を入れていただき、次の一枚に向けた課題を把握します】



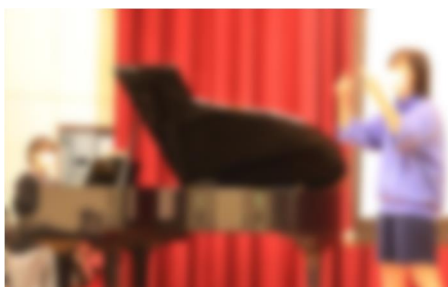
【何回書いても、まだまだ成長の余地があるもの。だからまた、何回も書くのです】

文字が電子化・データ化がされていく現在も、「文字を書いて残す、伝える」ということは、当たり前に行われています。テレビ番組で、上手な字を「美文字」と称して取り上げ、ちょっとしたブームにもなりました。個人的には、字の上手な人がうらやましいと思います。「美文字になりたい」とは言わずとも、のし袋に書くときなどに、それなりに自信をもって書くことができればなあ……と思うと同時に、「子どもの頃に、もっと真剣に取り組めばよかった」と後悔することが、しばしばあります。

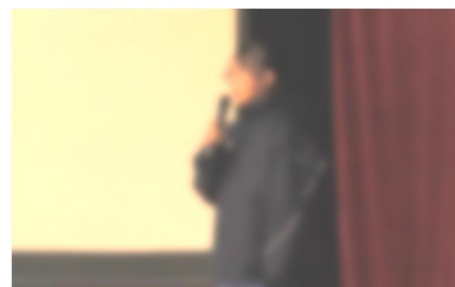
各学年で、黙々と取り組んでいる人が多く、向上心を持っていることがよく分かります。得意・不得意な人がそれぞれいるでしょうが、「今しか学べないこと」を大切にしてほしい、と心から願います。そして、ここで学んだことが、様々な形で生かされることを、期待しています。

学校をよりよくするために

11日(月)、生徒集会が行われ、生徒会本部役員、放送委員会、奉仕委員会から、それぞれ発表がありました。活動の中心が2年生に引き継がれ、意欲的に取り組んでいる様子が伝わってきます。



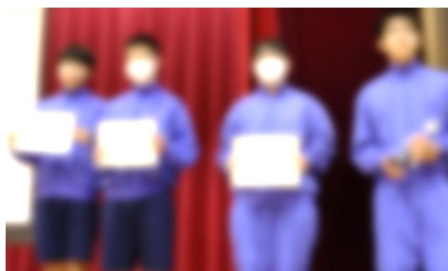
【指揮は〇〇さん、伴奏は〇〇さん。これかも盛り上げていきましょう】



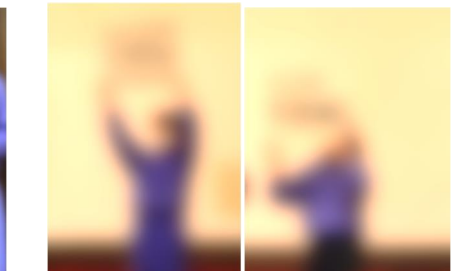
【放送委員会は、好きな歌手のアンケートを説明。人気の企画です】



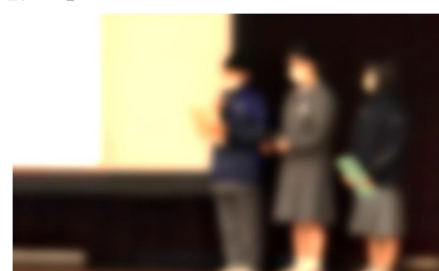
【奉仕委員会は、エコキャップ回収の表彰式を実施】



【エコキャップ回収…1位は3B、2位は2B、3位は2Aでした！】



【本校で117.075kg集めました。ポリオワクチン約58.5本分。立派な社会貢献です】



【挨拶の取組状況について本部からの発表。学年が上がるごとに向上しているようです】

学校生活をよりよくするために、委員会や本部役員が様々な企画を実行しています。皆さんはこれからも、その活動の目的を理解して、時に楽しみ、時に真剣に取り組んでほしいものです。挨拶の活性化も、歌声も、エコキャップ集めも、放送の充実も、換気の呼びかけも、学習や読書の充実も、代表者だけの活動では、成り立ちません。全校生徒の力や思いを結集することが大切です。それが形になっていくと、学校生活は、よりよいものになります。皆さんの生活も、さらに充実したものになるのです。